

プログラム

〔お断り：原則的に講演者が入力，執筆いただきましたデータをそのまま掲載しておりますので，
一部に施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。〕

プログラム

日本糖尿病合併症学会 総会・授賞式

Distinguished Investigator Award

11月14日（金）13：00～13：30 第1会場 3階（コスモスⅠ）

贈呈者： 稲垣 暢也（公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院）

受賞者： 石田 均（市立長浜病院 ヘルスケア研究センター）

井口登與志（福岡市健康づくりサポートセンター）

小椋祐一郎（みたき総合病院）

受賞講演

Young Investigator Award

11月14日（金）14：00～14：30 第1会場 3階（コスモスⅠ）

座 長： 和田 淳（岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学）

YIA 1 糖尿病合併症ならびにその発症・増悪因子としての脂肪性肝疾患の意義に関する研究

松林 泰弘（新潟大学医歯学総合病院 内分泌・代謝内科）

YIA 2 糖尿病性腎症におけるポドサイト障害機構の解明

山原 真子（滋賀医科大学医学部附属病院 医師臨床教育センター）

Expert Investigator Award

11月14日（金）14：30～15：00 第1会場 3階（コスモスⅠ）

座 長： 西尾 善彦（鹿児島医療センター）

**EIA 脂質合成転写調節と臓器脂質の量，質，感知の制御に基づいた
脂肪毒性機序と糖尿病合併症の研究**

島野 仁（筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科）

Outstanding Foreign Investigator Award

11月14日（金）15：00～15：40 第1会場 3階（コスモスⅠ）

座 長： 植木浩二郎（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 糖尿病研究センター）

OFIA Anticipating the Next Transitions in the Diabetes Epidemic

Edward W Gregg（RCSU University of Medicine & Health Sciences / Imperial College, London）

11月14日（金）13：30～14：00 第1会場 3階（コスモスⅠ）

座 長： 門脇 孝（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院）

糖尿病とその合併症を問い直す

植木浩二郎（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 糖尿病研究センター）

特別企画1

11月14日（金）15：50～17：50 第1会場 3階（コスモスⅠ）

糖尿病合併症学会の歩み

座 長： 中村 二郎（医療法人 TDE 糖尿病・内分泌内科クリニック TOSAKI 名東）
 稲垣 暢也（公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院）

SS1-1 学会と共に歩んだ自分史—末梢神経から中枢神経への Journey—

堀田 饒（独立行政法人労働者健康安全機構 中部ろうさい病院）

SS1-2 動脈硬化性疾患予防の歩み

島野 仁（筑波大学医学医療系内分泌代謝・糖尿病内科）

SS1-3 日本糖尿病合併症学会の歩みと糖尿病性腎症について

羽田 勝計（旭川医科大学）

特別企画2

11月15日（土）9：00～11：30 第1会場 3階（コスモスⅠ）

糖尿病合併症とはなにか？

座 長： 稲垣 暢也（公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院）
 植木浩二郎（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 糖尿病研究センター）

SS2-1 遺伝統計学による糖尿病の病態解明

岡田 随象（東京大学大学院医学系研究科遺伝情報学／大阪大学大学院医学系研究科遺伝統計学／
 理化学研究所生命医科学研究センターシステム遺伝学チーム）

SS2-2 エピジェネティクスの立場から—糖尿病合併症と末梢血 DNA メチル化の接点

林 香（慶應義塾大学医学部内科学（腎臓内分泌代謝））

SS2-3 腸内細菌叢と糖尿病合併症

大野 博司（国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センター粘膜システム研究チーム／
 国立大学法人千葉大学大学院医学研究科）

SS2-4 糖尿病合併症について：脂肪組織機能異常の立場から

下村伊一郎（大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学）

パネルディスカッション：糖尿病性神経障害の新たな簡易診断基準を考える

座 長： 八木橋操六（弘前大学）

中村 二郎（医療法人 TDE 糖尿病・内分泌内科クリニック TOSAKI 名東）

R7

姫野 龍仁（愛知医科大学 医学部内科学講座糖尿病内科）

パネラー：日本糖尿病合併症学会／日本末梢神経学会／糖尿病性神経障害を考える会 会員

内科と眼科がつなぐ未来：糖尿病網膜症診療の新パラダイム

座 長： 石垣 泰（岩手医科大学 医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野）
吉田 茂生（久留米大学 眼科）

JS1 インクレチン関連薬と糖尿病網膜症：インクレチン受容体作動薬のエビデンスと課題

矢部 大介（京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学）

JS2 糖尿病網膜症と SGLT2 阻害薬

久米 真司（滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科）

JS3 眼循環が拓く新時代～全身 - 眼関連で読み解く糖尿病網膜症

橋本りゅう也（東邦大学眼科学教室）

JS4 デジタル低侵襲手術の進歩

井上 真（杏林アイセンター）

JS5 内科眼科連携と医療 DX：糖尿病網膜症管理の新潮流

中尾新太郎（順天堂大学大学院 医学研究科 眼科学）

動脈硬化性疾患

座 長： 西尾 善彦（鹿児島医療センター）
綿田 裕孝（順天堂大学 代謝内分泌内科学）

CS1-1 Japanese Primary Prevention of Aspirin for Diabetes (JPAD) 研究

副島 弘文（熊本大学保健センター）

CS1-2 生活習慣が動脈硬化性疾患に与える影響

三田 智也（順天堂大学大学院代謝内分泌内科学）

CS1-3 低血糖・血糖変動による血管内皮機能への影響

岡田 洋右（産業医科大学病院臨床研究推進センター／産業医科大学医学部第一内科学講座）

CS1-4 2型糖尿病患者の脂質異常と内皮機能の関係

新中須 敦（公益財団法人慈愛会いづろ今村病院糖尿病内科）

歯周病

座 長： 成瀬 桂子（愛知学院大学歯学部 内科学講座）
西村 英紀（九州大学 歯学研究院歯周病学分野）

CS2-1 歯周病の影響を受けやすい日本人型糖尿病とは何か？

西村 英紀（九州大学歯学研究院歯周病学分野）

CS2-2 糸球体における HPGDS-PGD2 軸を介した歯周炎による糖尿病性腎症増悪の分子メカニズム

新城 尊徳（九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学分野）

CS2-3 糖尿病におけるヒストン修飾と歯周病

中村 信久（愛知学院大学歯学部内科学講座）

CS2-4 糖尿病合併症に対する保護因子の探索と新規治療法の開発
～ジョスリンメダリスト研究から見えてきたこと～

鬼塚 理（九州歯科大学歯科保存再生治療学講座歯周病学分野）

CS2-5 歯周病と代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD）

米田 正人（横浜市立大学肝胆膵消化器病学）

CS2-6 口腔内細菌叢破綻の遠隔臓器への影響

片桐 さやか（東京科学大学大学院医歯学総合研究科口腔生命医科学分野／東京科学大学 口腔科学センター
口腔全身健康部門）

肥満症

座 長： 横手幸太郎（千葉大学）

山内 敏正（東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科）

CS3-1 肥満症に伴う健康障害の発症・進展と BMI の関係と減量による改善効果

越坂 理也（千葉大学予防医学センター／千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学／
千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）

CS3-2 診療録直結型肥満症データベース（J-ORBIT）の現状と展望

廣田 勇士（神戸大学大学院医学研究科内科学講座糖尿病・内分泌内科学部門）

CS3-3 肥満症のスティグマとアドボカシー

加藤明日香（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻保健社会行動学分野）

CS3-4 肥満症の病態と対策～肥満症治療薬を含めて～

庄嶋 伸浩（東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科）

CS3-5 肥満関連腎臓病の病態と治療

和田 淳（岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学）

CS3-6 女性の低体重 / 低栄養症候群（FUS: Female Underweight/Undernutrition Syndrome）について

田村 好史（順天堂大学大学院医学研究科 スポーツ医学・スポーツロジック / 代謝内分泌内科学）

老年症候群

座 長： 横手幸太郎（千葉大学）

鈴木 亮（東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野）

CS4-1 老年症候群総論

田村 嘉章（東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科）

CS4-2 糖尿病におけるサルコペニアのメカニズム

杉本 研（川崎医科大学総合老年医学）

CS4-3 高齢者糖尿病における多因子介入と認知障害の改善

櫻井 孝（国立長寿医療研究センター研究所）

CS4-4 フレイルの評価と対策

梅垣 宏行（名古屋大学附属病院老年内科）

CS4-5 サルコペニア予防のための糖尿病食事療法

福井 道明（京都府立医科大学大学院医学研究科内分泌・代謝内科学）

CS4-6 老年症候群に配慮した高齢糖尿病患者の薬物療法

前澤 善朗（千葉大学大学院医学研究院内分泌代謝血液老年内科学）

DKD研究の新たな展開～基礎から臨床まで～

座 長： 四方 賢一（岡山大学）

川浪 大治（福岡大学 医学部内分泌・糖尿病内科学）

CS5-1 異種再生医療による次世代腎不全治療法開発

横尾 隆（東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科）

CS5-2 CANPIONE study ～微量アルブミン尿期の SGLT2 阻害薬のエビデンス～

宮本 聡（岡山大学学術研究院医療開発領域）

CS5-3 糖尿病性腎症保護因子に着目した残存病態の解明と治療戦略

横溝 久（福岡大学医学部内分泌・糖尿病内科学）

CS5-4 非ステロイド型 MR 拮抗薬フィネレノンのリアルワールドエビデンス

山内 真之（虎の門病院腎センター内科）

CS5-5 細胞老化と代謝異常が引き起こす腎線維化 — PKM2 活性化による新たな介入戦略 —

金崎 啓造（島根大学医学部内科学講座内科学第一／統合腎疾患制御研究・開発センター）

糖尿病性神経障害とは何か？

座 長： 神谷 英紀（愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科）

水上 浩哉（弘前大学大学院医学研究科附属バイオメディカルリサーチセンター 分子病態病理学講座）

CS6-1 糖尿病性神経障害の概念および成因

出口 尚寿（鹿児島大学病院総合臨床研修センター／糖尿病・内分泌内科／

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科糖尿病・内分泌内科学）

CS6-2 糖尿病性神経障害の評価法と診断

姫野 龍仁（愛知医科大学医学部内科学講座糖尿病内科）

CS6-3 糖尿病性自律神経障害の病態と診断の最新知見～新たな指標を用いた起立性低血圧の分類～

城島 輝雄（獨協医科大学医学部内科学（内分泌代謝））

CS6-4 糖尿病性神経障害の治療

加藤 宏一（愛知学院大学薬学部薬物治療学講座）

CS6-5 糖尿病性神経障害の新たな成因

片山 勝喜（岡山大学病院腎臓・糖尿病・内分泌内科）

CS6-6 群盲像をなでる

八木橋操六（弘前大学）

シンポジウム7

11月15日（土）14：10～16：10 第2会場 3階（コスモスⅡ）

MASLD/MASH

座 長： 篁 俊成（金沢大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学）
窪田 直人（熊本大学 代謝内科）

CS7-1 Metabolome landscapes of SGLT2i- and SU-treated liver and serum of persons with T2D and MASLD

竹下有美枝（金沢大学医薬保健研究域医学系内分泌・代謝内科学）

CS7-2 血管分泌因子を介した脂肪肝と糖尿病性腎症における「肝腎連関」と創薬ターゲットの可能性

三宅 広将（岡山大学学術研究院医歯薬学域病態生理・創薬学／
岡山大学学術研究院医歯薬学域腎・免疫・内分泌代謝内科学）

CS7-3 Activin B improves glucose metabolism via induction of Fgf21 and hepatic glucagon resistance

小林 直樹（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究センター分子糖尿病医学研究部）

CS7-4 グルカゴン応答性メチル化酵素を介した肝細胞癌促進機構

松本 道宏（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究センター分子代謝制御研究部）

シンポジウム8

11月15日（土）14：10～16：10 第3会場 5階（オリオン）

糖尿病とがん—真の相互関係に迫る

座 長： 野田 光彦（国際医療福祉大学 市川病院）
曾根 博仁（新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学分野／
新潟大学ビッグデータアクティベーション研究センター）

CS8-1 糖尿病とがん—疫学研究からの展開

津金昌一郎（国際医療福祉大学大学院医学研究科）

CS8-2 糖尿病とがんを結ぶメカニズム

小川 渉（神戸大学大学院医学研究科橋渡し科学分野代謝疾患部門）

CS8-3 臨床現場におけるがん・糖尿病と高血糖—糖尿病はがん治療のハザードか

安田 重光（埼玉医科大学国際医療センター内分泌内科・糖尿病内科）

CS8-4 「がん患者における糖尿病治療のコンセンサスステートメント」 —成り立ちから活用戦略まで—

山内 敏正（東京大学医学部糖尿病・代謝内科）

教育講演1

EL1 糖尿病性神経障害の臨床病期とアプローチ

出口 尚寿（鹿児島大学病院総合臨床研修センター / 糖尿病・内分泌内科）

教育講演2

EL2 糖尿病網膜症診療ガイドラインについて

村田 敏規（信州大学眼科）

教育講演3

EL3 糖尿病性腎症・糖尿病関連腎臓病

金崎 啓造（島根大学医学部／島根大学病院内分泌代謝内科／
島根大学医学部 統合腎疾患制御研究・開発センター）

教育講演4

EL4 大血管症：糖尿病と動脈硬化性疾患

古橋 真人（札幌医科大学医学部内科学講座循環病態内科学分野：
心臓・血管内科学部門 / 代謝・腎臓内科学部門）

教育講演5

EL5 糖尿病に合併する MASLD に特有の病態と治療

篁 俊成（金沢大学内分泌・代謝内科学）

教育講演6

EL6 肥満症治療の進歩

石垣 泰（岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野）

教育講演7

EL7 糖尿病合併症・併発症予防のための食事療法

福井 道明（京都府立医科大学大学院医学研究科内分泌・代謝内科学）

教育講演8

EL8 合併症を見据えた運動療法の在り方

田村 好史（順天堂大学大学院医学研究科スポーツ医学・スポーツロジック / 代謝内分泌内科学）

Molecular Basis for Fuel Switching During Adaptation

Chair : Kohjiro Ueki (Director, Diabetes Research Center, Research Institute, National Center for Global Health and Medicine, Japan)

ASL Molecular Basis for Fuel Switching During Adaptation

Shingo Kajimura (Harvard Medical School, Beth Israel Deaconess Medical Center, Howard Hughes Medical Institute, USA)

APDO Symposium 1

Nov 14 (Fri) 16 : 00~17 : 40 Room 7 7F (706)

Novel mechanisms underlying the development of obesity-related diseases

Chair : Tadahiro Kitamura (Institute for Molecular and Cellular Regulation, Gunma University, Japan)

AS1-1 The role of white adipose tissue-derived small molecules in control of metabolic and intestinal balance

Kenneth King Yip Cheng (The Hong Kong Polytechnic University, China-Hong Kong)

AS1-2 Integrated analysis for human visceral adipose tissue by single nucleus seq and bulk RNA seq according to the metabolic status

SungHee Choi (Seoul National University College of Medicine, Korea)

AS1-3 YAP/TAZ coordinate adipose plasticity and leptin dynamics to maintain metabolic homeostasis

Jae Myoung Suh (Graduate School of Medical Science and Engineering, KAIST, Korea)

AS1-4 FSTL1-mediated endothelial cell-macrophage interactions manipulate adipose tissue dysfunction-associated obesity

Jia Li (Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences, China)

APDO Symposium 2

Nov 15 (Sat) 8 : 45~10 : 00 Room 7 7F (706)

Treatment targets for obesity and its related diseases

Chair : Jae Bum Kim (Seoul National University, South Korea)

AS2-1 Targeting metabolic regulators in the treatment of obesity-associated complications

Weiping Han (Institute of Molecular and Cell Biology, A*STAR, Singapore)

AS2-2 Synergism between FGF21 and leptin in amelioration of obesity-related metabolic comorbidities

Aimin Xu (The University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China)

AS2-3 Liver-Derived SerpinA1 Regulates Metabolic Energy Expenditure by Maintaining and Activating Brown Adipose Tissue and Skeletal Muscle

Masaji Sakaguchi (Department of Metabolic Medicine, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Japan)

APDO Symposium 3

Nov 15 (Sat) 10 : 05~11 : 20 Room 7 7F (706)

Precision medicine based on the molecular pathogenesis

Chair : Weiping Han (Institute of Molecular and Cell Biology, A*STAR, Singapore)

AS3-1 Genetically informed precision medicine for Māori and Pacific peoples

Peter Shepherd (University of Auckland, New Zealand)

AS3-2 Application of glucagon to pathological diagnosis and treatment for personalized medicine of diabetes

Tadahiro Kitamura (Institute for Molecular and Cellular Regulation, Gunma University, Japan)

AS3-3 The signal bias mediated by splice variants of class B1 G protein-coupled receptors

Dehua Yang (Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences, China)

APDO Symposium 4

Nov 15 (Sat) 14 : 10~15 : 25 Room 7 7F (706)

New Era in adiposcience

Chair : Aimin Xu (The University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China)

AS4-1 Lamin as a Master Regulator: Linking Chromatin Dynamics to Diabetes and Inflammatory Pathways

Kae Won Cho (Soonchunhyang University, Republic of Korea)

AS4-2 Adipose Tissue Plasticity and Energy Metabolism

Jae Bum Kim (Seoul National University, South Korea)

AS4-3 Action-Machinery of adiponectin for organ protection after T-cadherin binding

Iichiro Shimomura (Department of Metabolic Medicine, Osaka University Medical School, Japan)

APDO Symposium 5

Nov 15 (Sat) 15 : 30~16 : 45 Room 7 7F (706)

Toward healthy longevity

Chair : SungHee Choi (Seoul National University College of Medicine, Korea)

AS5-1 Molecular Mechanisms Linking Obesity to Elevated Cancer Risk

Jiyoung Park (UNIST (Ulsan National Institute of Science and Technology), South Korea)

AS5-2 A skeletal muscle-sympathetic nerve-intestine network underlies muscle inflammation and atrophy induced by immobilization

Wataru Ogawa (Kobe University Graduate School of Medicine, Japan)

AS5-3 Renal Energy Metabolism as a Determinant of Healthspan

Shinji Kume (Department of Medicine, Shiga University of Medical Science, Japan)

Smash the MASH

Chair : Peter Shepherd (The University of Auckland, New Zealand)

AS6-1 Roles of Mitochondrial Amino Acid Sensing in the Pathologies of Fatty Liver

Motoharu Awazawa (National Institute of Global Health and Medicine, Japan)

AS6-2 Rewiring Membrane Sphingolipid: A Tuning Point in MASL-MASH Transition

Cen Xie (Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences, Shanghai, P.R. China)

AS6-3 The enedioic acid analogue 326E alleviates MASH in preclinical studies and its signatures in patients via dual targeting at ACLY and PPAR α

Jingya Li (Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences, University of Chinese Academy of Sciences, China)

優秀セッション 1

11月14日（金）9：10～10：25 第4会場 6階（601）

座 長： 野村 政壽（久留米大学医学部内科学講座内分泌代謝内科部門）
森 克仁（近畿大学奈良病院 内分泌・代謝・糖尿病内科）

EPA1-1 累積超過 BMI と肥満関連腎臓病リスクに関する検討：J-ORBIT 研究

西影 星二（神戸大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌内科学部門）

EPA1-2 メタボリックシンドロームの病態形成に重要な代謝産物センサー分子 CtBP2 のリガンド認識機構の構造的・熱力学的解明

戒能 賢太（筑波大学医学医療系内分泌代謝・糖尿病内科）

EPA1-3 イメグリミンによるミトコンドリア非依存的な血管保護作用の検討

岩澤 卓弥（順天堂大学静岡災害医学研究センター／東洋大学ライフイノベーション研究所／東洋大学大学院健康スポーツ科学研究科）

EPA1-4 真菌由来化合物 SMTP-44D による糖尿病性腎症進展抑制メカニズムの解明と新規治療戦略の提唱

栗根 大揮（昭和医科大学大学院薬学研究科／昭和医科大学薬理科学研究センター）

EPA1-5 糖尿病神経障害の病態形成におけるフェロトーシスの役割

片山 勝喜（岡山大学病院腎臓・糖尿病・内分泌内科）

優秀セッション 2

11月14日（金）10：25～11：40 第4会場 6階（601）

座 長： 熊代 尚記（金沢医科大学医学部糖尿病・内分泌内科学）
木村 友彦（川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学）

EPA2-1 メタボリックシンドロームの経年変化がその後の心血管疾患発症に与える影響

滝澤 大輝（新潟大学大学院医歯学総合研究科内分泌・代謝内科）

EPA2-2 尿細管脂肪酸代謝障害における ROCK アイソフォームの役割

長尾 知（東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科）

EPA2-3 末梢神経系における神経前駆細胞と糖尿病性多発神経障害の病態との関連性の解明

山口 真広（愛知医科大学医学部内科学講座糖尿病内科）

EPA2-4 選択的アンドロゲン受容体修飾薬（SARM）は糖質コルチコイドによる筋萎縮と耐糖能異常および脂肪肝を抑制する

堤 貴大（山梨大学大学院 総合研究部 医学域 臨床医学系（内科学講座 糖尿病・内分泌内科学教室））

EPA2-5 術前血糖管理入院は周術期創感染症の発症リスクを抑制する：多施設共同後方視的研究

堀切 陽祐（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科糖尿病・内分泌内科学）

ワークショップ 1

11月14日（金）16：00～16：45 第4会場 6階（601）

患者教育・先進医療 1

座 長： 原田 範雄（福井大学 内分泌・代謝内科）

W1-1 多施設電子カルテ由来の匿名加工情報データベースを用いた、 糖尿病足壊疽手術および関連する要因の検討

龍岡 久登（京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科／
一般社団法人関西ヘルスケアサイエンスインフォマティクス）

W1-2 チルゼパチドの最適用量への調整における医薬品管理体制

佐々木貴寛（医療法人岩切病院薬剤部）

W1-3 糖尿病を持つ男性で独居患者の死亡症例を考える

加藤 則子（加藤内科クリニック）

ワークショップ 2

11月14日（金）16：45～18：00 第4会場 6階（601）

MASLD/MASH

座 長： 森 保道（虎の門病院内分泌代謝科 糖尿病・代謝部門）

W2-1 メタボローム解析を取り入れた SGLT2 阻害薬と低炭水化物食の比較による MASLD 治療標的の探索

武居 晃平（京都大学医学部医学研究科）

W2-2 肝移植により高グルカゴン血症が改善したインスリン抵抗性糖尿病の一例

中野雄二郎（金沢大学内分泌・代謝内科）

W2-3 MASLD の併存症に及ぼす糖尿病のインパクト

奥村 美輝（金沢大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学）

W2-4 オキシトシン受容体遺伝子多型はアルコール・スクロース摂取量および肝脂肪化と関連する

後藤 久典（金沢大学医薬保健研究域医学系内分泌・代謝内科学／
金沢大学医薬保健研究域医学系血管分子生物学）

W2-5 日本人 MAFLD/MASLD 患者における MAF-5 スコアの有用性

福満 隼人（神戸大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌内科学）

ワークショップ 3

11月14日（金）9：10～10：25 第5会場 6階（606）

腎症 1

座 長： 荒木 信一（和歌山県立医科大学腎臓内科学講座）

W3-1 レニン-アンジオテンシン系阻害薬の適正利用に関して考える

金崎 啓造（島根大学医学部内科学講座内科学第一）

W3-2 糖尿病患者に腎生検を実施して非糖尿病性腎症を鑑別する意義の検討

桑形 尚吾（滋賀医科大学内科学講座糖尿病内分泌・腎臓内科）

W3-3 高度肥満を合併した糖尿病関連腎臓病症例に対する GLP-1 製剤使用後の検討

岡本 陽地（あおい在宅クリニック）

W3-4 肥満を合併する糖尿病患者の代謝パラメータと腎機能推移の関係

高 義樹（北里大学医学部総合診療医学）

W3-5 中等度～高度腎機能障害を有する 2 型糖尿病に対するルセオグリフロジンの腎機能保持効果：無作為化非盲検臨床試験（RESOLUTION 試験）

北田 宗弘（浜田メディカルクリニック／和歌山県立医科大学腎臓内科）

ワークショップ 4

11月14日（金）10：25～11：40 第5会場 6階（606）

腎症 2

座 長： 中司 敦子（岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科）

W4-1 糖尿病性腎症による新規ポドサイト障害機構の解明 —scRNA-seq と機能解析によるアプローチ

吉岡 美穂（滋賀医科大学糖尿病内分泌腎臓内科）

W4-2 糖尿病関連腎臓病の腎臓間質線維化における転写因子 Tcf21 の機能解析

佐藤 哲太（千葉大学大学院医学研究院内分泌代謝・血液・老年内科学／
千葉大学医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科）

W4-3 運動により脂肪組織で増加する 13-HDHA による腎線維化プログラム抑制効果の検討

高垣 雄太（島根大学医学部内科学内科学講座第一）

W4-4 糖尿病関連腎臓病において選択的 PPAR α モジュレーターは尿細管保護的に働く

井出真太郎（千葉大学医学部内分泌代謝血液老年内科学）

W4-5 新規糖尿病関連腎臓病マウスにおける腎老化の検討

上村 明（三重大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）

ワークショップ 5

11月14日（金）16：00～17：00 第5会場 6階（606）

肝臓基礎

座 長： 寺内 康夫（横浜市立大学大学院医学研究科分子内分泌・糖尿病内科学）

W5-1 代謝産物センサー CtBP2 の肝線維化における機能の解明

中田あゆみ（筑波大学医学医療系内分泌代謝・糖尿病内科）

W5-2 DYRK1 ファミリーキナーゼを介した肝糖新生制御機構の解明

満島 勝（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究センター分子代謝制御研究部）

W5-3 イメグリミンによる肝糖新生抑制作用の分子基盤の検討： NO 産生と AMPK の活性化の関与可能性とメトホルミンとの比較解析

張 靖維（京都大学大学院医学研究科）

W5-4 Coenzyme A 合成酵素阻害は肝脂肪滴コレステロールを抑制し、 代謝異常関連脂肪肝炎（MASH）を改善する

佐久間一基（千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学）

ワークショップ 6

11月14日（金）17：00～18：00 第5会場 6階（606）

疫学・遺伝素因／心血管疾患

座 長： 杉山 雄大（国立健康危機管理研究機構）

W6-1 糖尿病患者の心血管・腎・代謝（CKM）イベント発症率—治療期の比較

大星 隆司（和歌山労災病院臨床検査科／和歌山労災病院内科）

W6-2 心房細動危険因子としての前糖尿病—糖尿病との比較：メタ解析

児玉 暁（新潟大学医学部血液内分泌代謝内科／新潟大学大学院生活習慣病予防健診医学講座）

W6-3 血管内皮 Krüppel-like factor 4 は HFpEF の病態を制御する

永井 洋介（東京慈恵会医科大学内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科／

Brown University, Department of Molecular Biology, Cell Biology, and Biochemistry）

W6-4 糖尿病性心筋症の分子メカニズムの解明

添田光太郎（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究センター分子糖尿病医学研究部）

脂質異常症

座 長： 長尾 元嗣（日本医科大学大学院医学研究科 内分泌代謝腎臓内科学分野）

**W7-1 日本人の高コレステロール血症患者における ACL 阻害薬ベムペド酸の有効性と安全性：
国内第 II/III 相試験の統合解析から**

山下 静也（りんくう総合医療センター）

**W7-2 脂質異常症患者に対する治療補助アプリの安全性および有効性の検討：
単施設無作為化探索的試験**

山口 彩乃（千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科／
千葉大学大学院 医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学）

W7-3 アポ E4/2 遺伝型と V 型高脂血症－糖尿病症例報告

佐藤 佑香（総合南東北病院薬剤科）

**W7-4 ペマフィブラート投与に伴う脂質代謝変化：
ベースライン臨床背景の影響－ PROMINENT 試験を考察する－**

下田 将司（川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学）

薬物療法 1

座 長： 太田 美和（もものき内科クリニック（島根大学医学部内科学講座内科学第一））

W8-1 2 型糖尿病患者に対するトログリフロジン短期投与が膵β細胞機能と肝脂肪化に及ぼす影響：The TOP-ELM study

中村 昭伸（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）

W8-2 多摩地域の内科医対象のアンケート調査結果から見た糖尿病の薬物療法の選択状況に関する年次推移

大野 敦（東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科／八王子糖尿病内科クリニック
／糖尿病治療多摩懇話会）

W8-3 SGLT2 阻害薬 vs. SU 薬が臓器特異的交感神経活動に及ぼす作用

野村 千晶（金沢大学医薬保健研究域医学系内分泌・代謝内科学）

W8-4 イメグリミンとインスリンの併用療法の血糖コントロール予測因子同定の試み：臨床試験データを用いた機械学習分析

北山 甫（住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部）

W8-5 経口セマグルチド導入患者の臨床経過の検討

外館 祐介（岩手医科大学附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科）

W8-6 GIP/GLP-1 受容体作動薬チルゼパチドの有効性と安全性の検証

岩本 達也（順天堂大学医学部附属静岡病院 糖尿病・内分泌内科）

ワークショップ 9

11月14日（金）16：00～17：15 第6会場 7階（701）

薬物療法 2

座 長： 荒木 厚（東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科）

W9-1 GIP/GLP-1 受容体作動薬チルゼパチドの効果～24ヶ月間の使用成績～

田中 剛史（国立病院機構三重中央医療センター糖尿病・内分泌内科）

W9-2 リラグルチド・デュラグルチドから経口セマグルチドへの切り替えが 2型糖尿病患者の腎機能に与える影響についての検討

高嶋 悟（秋田厚生医療センター糖尿病・代謝内科）

W9-3 日本人 2 型糖尿病患者における DPP-4 阻害薬を含む固定用量配合錠の処方継続の検討

加来 浩平（川崎医科大学）

W9-4 イメグリミン単剤療法の血糖コントロール予測因子同定の試み： 臨床試験データを用いた機械学習分析

萩 勝彦（住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部）

W9-5 2 型糖尿病患者においてチルゼパチドが糖代謝・体重・肝機能・脂質代謝へ及ぼす影響と 体重変化に寄与する因子の検討

大谷はづき（医療法人協仁会小松病院）

ワークショップ 10

11月14日（金）17：15～18：00 第6会場 7階（701）

肥満・脂肪細胞

座 長： 繪本 正憲（大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学・腎臓病態内科学）

W10-1 血管内皮 Rho-kinase2 シグナルによる肥満病態の制御機構

大橋 慎史（東京慈恵会医科大学内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科）

W10-2 分泌型セリンプロテアーゼ HtrA1/3 欠損による脂肪組織の Healthy Expansion と代謝改善

小林 直樹（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究分子糖尿病医学研究部）

W10-3 NMN の単回投与は、NAD サルベージ経路の活性化を介して 全身のインスリン感受性を向上させる

廣重 俊典（山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座）

患者教育・先進医療 2

座 長： 安孫子亜津子（旭川赤十字病院糖尿病・内分泌内科）

W11-1 糖尿病患者における認知機能低下の早期検出：動的カードマッチングゲームを用いた新たなアプローチ

鈴木 吉彦（HDC アトラスクリニック）

W11-2 糖尿病患者におけるインスリン由来アミロイドーシス検出における携帯型超音波診断装置の有用性の検討

影浦 直子（藤田医科大学保健衛生学部看護学科／藤田医科大学大学院保健学研究科）

W11-3 大規模言語モデル (LLM) を用いた生成 AI に “SGLT2 阻害薬の効能効果について教えて ” もらった際の時期別の傾向 (2024 年下半期)

坂東 秀訓（萬田記念病院 内科）

W11-4 見落とし防止と働き方改革に貢献できるような電子カルテ画面の検討

古賀 龍彦（社会医療法人原土井病院内科）

神経障害

座 長： 恒川 新（岐阜大学大学院医学系研究科 糖尿病内分泌代謝内科）

W12-1 日本での糖尿病性多発神経障害 / 糖尿病性末梢神経障害性疼痛の実態とミロガバリン治療の有効性の検討：Dia-NeP 研究計画

神谷 英紀（愛知医科大学医学部内科学講座糖尿病内科）

W12-2 シェロング試験における起立後 10 分間の血圧振幅は糖尿病合併症の重症度と相関する：単施設観察研究

有村 愛子（鹿児島大学大学院糖尿病・内分泌内科学）

W12-3 高グルコースによるシュワン細胞のミトコンドリア機能障害と細胞老化に対するイメグリミンと NMN の効果

加藤 文子（愛知学院大学薬学部医療薬学科薬物治療学講座）

W12-4 実験的糖尿病性神経障害における DRG 神経細胞亜集団の形態変化について

佐々木崇矩（弘前大学大学院医学研究科附属バイオメディカルリサーチセンター分子病態病理学講座）

W12-5 スドスキャン検査からみた糖尿病性神経障害の C 線維障害症候

馬場 正之（青森県立中央病院脳神経内科／青森県立中央病院内分泌内科）

W12-6 ピルビン酸は高グルコース負荷により抑制される IMS32 シュワン細胞の分化プロセスを改善する

八子 英司（東京薬科大学生命科学部分子生命科学科）

ワークショップ 13

11月15日（土）9：00～10：15 第4会場 6階（601）

高血圧 1

座 長： 片上 直人（大阪大学内分泌・代謝内科学講座）

W13-1 ARB からサクビトリルバルサルタンに処方変更した 2 型糖尿病のある人における降圧 及び心，腎保護，糖代謝への影響

大工原裕之（坂出市立病院糖尿病内科）

W13-2 2 型糖尿病合併の急性冠症候群の冠動脈アテローム性プラークに対する SGLT 2 阻害剤と GLP 1 受容体作動薬の前向き比較試験

城島 輝雄（獨協医科大学医学部内科学（内分泌代謝））

W13-3 2 型糖尿病の治療中に家族性高コレステロール血症を指摘された一例

宮澤 未祐（複十字病院糖尿病・生活習慣病センター）

W13-4 コントロール不良な糖尿病を契機に発覚したクッシング症候群と，動脈塞栓を合併した一例

神賀 雄介（獨協医科大学病院内分泌代謝内科）

W13-5 若年で脳出血を発症したマルチブルリスクファクター症候群症例とその治療法

斉藤美恵子（総合南東北病院高血圧糖尿病内科）

ワークショップ 14

11月15日（土）10：15～11：15 第4会場 6階（601）

高血圧 2

座 長： 森岡 与明（大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学）

W14-1 経口ブドウ糖負荷試験における血糖上昇と血管内皮グリコカリックス障害の関連

角谷 佳則（大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学）

W14-2 握力と Diabetes Complication Severity Index の関連

吉川 善（川崎医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科学）

W14-3 糖尿病透析予防指導外来受診患者におけるイベント発症についての検討

田添 聡司（大阪市立総合医療センター糖尿病・内分泌内科）

W14-4 2 型糖尿病における体組成に対するインスリンの分泌量・感受性の関与と動脈硬化への 影響についての検討

谷川 隆久（康生会武田病院）

ワークショップ 15

11月15日（土）11：15～12：00 第4会場 6階（601）

がん

座 長： 後藤 尚（秋田赤十字病院）

W15-1 肥満糖尿病を背景とした乳癌進展と Vaspin/GRP78 の意義

中司 敦子（岡山大学病院腎臓・糖尿病・内分泌内科）

W15-2 新規モデルマウスを用いた糖尿病関連大腸癌の発症メカニズムの解明

霍田 裕明（国立健康危機管理研究機構分子糖尿病医学研究部／滋賀医科大学糖尿病内分泌・腎臓内科）

W15-3 cAMP 応答性メチル化酵素 SETX を介した肝糖新生および肝細胞がん促進メカニズムの解析

長沼 孝雄（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所）

ワークショップ 16

11月15日（土）14：10～15：10 第4会場 6階（601）

血糖管理

座 長： 竹本 稔（国際医療福祉大学医学部 糖尿病・代謝・内分泌内科学）

W16-1 日本人 2 型糖尿病患者における Time in Tight Range と糖尿病細小血管合併症との関係

鳥本 桂一（産業医科大学医学部第 1 内科学講座）

W16-2 メチルプレドニゾンパルス療法中の高血糖リスク予測指標の開発

岩本侑一郎（川崎医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科学）

W16-3 2 型糖尿病をもつ人における血清酸化型アルブミン（HNA%）の短期的変動の検討

石橋なぎさ（東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科）

W16-4 2 型糖尿病患者の糖尿病治療満足と HbA1c の検討：J-DOIT3 試験のデータから

岡崎由希子（順天堂大学医学部附属練馬病院 糖尿病・内分泌科）

ワークショップ 17

11月15日（土）15：10～15：55 第4会場 6階（601）

口腔・歯科疾患

座 長： 野見山 崇（順天堂大学医学部附属静岡病院）

W17-1 令和5年度国保レセプト情報を用いた岡山県での糖尿病・歯周病の受診状況調査

和田 嵩平（岡山大学病院糖尿病センター）

W17-2 糖尿病合併歯周炎に対するイメグリミンの治療効果

林 愛理（愛知学院大学歯学部歯周病学講座）

W17-3 糖尿病を早期に発見する仕組みの構築を目指した歯科医院での血糖値測定研究： 多施設共同前向きコホート研究

原井 望（山梨大学大学院糖尿病・内分泌内科学教室）

ワークショップ 18

11月15日（土）14：10～15：10 第5会場 6階（606）

腎症 3

座 長： 馬場園哲也（東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野）

W18-1 多摩地域の内科医における糖尿病とCKDに関するアンケート調査結果の年次推移（第3報）

大野 敦（東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科／八王子糖尿病内科クリニック
／糖尿病治療多摩懇話会）

W18-2 ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬は糖尿病関連腎臓病患者のeGFR年間低下速度を改善する

比嘉真理子（済生会横浜市東部病院糖尿病・内分泌内科）

W18-3 CONFIDENCE 試験：2型糖尿病合併CKD患者に対するフィネレノンと エンパグリフロジンの同時併用投与の有効性および安全性

Takeshi Osonoi（Nakakinen Clinic, Ibaraki, Japan）

W18-4 血液透析患者において血清アディポネクチン高値は生命予後不良を予測する

森岡 与明（大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学）

ワークショップ 19

11月15日（土）15：10～16：25 第5会場 6階（606）

腎症 4

座 長： 守屋 達美（国立病院機構相模原病院 糖尿病・内分泌代謝内科）

W19-1 CKD 分類と CGM metrics の特徴に関する後方視的解析

辻 諭（北里大学医学部糖尿病・内分泌代謝内科学）

W19-2 糖尿病透析予防指導の効果と eGFR 低下速度の改善に寄与する因子の検討

薬師寺洋介（大阪市立総合医療センター糖尿病・内分泌内科）

W19-3 2 型糖尿病における尿中活性型 IL-18 濃度と eGFR 年間低下速度の関係

野津 雅和（島根大学医学部内科学講座内科学第一）

W19-4 2 型糖尿病のある血液透析患者の Glycation gap に関する検討

林 哲範（北里大学看護学部基礎看護学／北里大学医学部糖尿病・内分泌代謝内科学）

W19-5 HNF1A 遺伝子に新規病原性変異を認め、腎症の進行を認めた MODY3 の一家系

井関 陽平（日本医科大学付属病院糖尿病・内分泌代謝科）

ワークショップ 20

11月15日（土）9：00～10：00 第6会場 7階（701）

症例報告 1

座 長： 松久 宗英（徳島大学先端酵素学研究所糖尿病臨床・研究開発センター）

W20-1 大腿部筋痛を伴った不明熱で診断と治療に苦慮した 1 型糖尿病の 1 例

藤井 紅理（旭川赤十字病院糖尿病・内分泌内科）

W20-2 腎摘出により救命しえた気腫性腎盂腎炎の一例

真柄 伸彦（藤田医科大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科学）

W20-3 化膿性脊椎炎に後縦隔膿瘍を合併した 2 型糖尿病の一例

篠原 雅幸（社会医療法人仁生会細木病院糖尿病・内分泌内科）

W20-4 テプロツムマブ投与後に高血糖をきたした症例

木下 舜一（大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学）

ワークショップ 21

11月15日（土）10：00～11：00 第6会場 7階（701）

症例報告 2

座 長： 森野勝太郎（鹿児島大学）

W21-1 1型糖尿病性ケトアシドーシス（DKA）に急性呼吸窮迫症候群（ARDS）が続発し、救命しえなかった若年例

阿部 勇樹（国立国際医療センター糖尿病内分泌代謝科）

W21-2 糖尿病の急性代謝失調に伴う顕著な脂質異常症を呈した2症例

吉田エリン唯（東京医科大学茨城医療センター代謝・内分泌内科）

W21-3 ミトコンドリア糖尿病に GLP-1 受容体作動薬が著効した一例

佐野 永輝（船橋市立医療センター代謝内科）

W21-4 短期間で左右の動眼神経麻痺を繰り返した2型糖尿病の1例

安孫子亜津子（旭川赤十字病院糖尿病・内分泌内科）

ワークショップ 22

11月15日（土）11：00～12：00 第6会場 7階（701）

モデル動物・培養細胞 1

座 長： 松本 道宏（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部）

W22-1 代謝産物センサー分子 CtBP2 は代謝状態を反映して分泌され、抗老化に作用する

関谷 元博（筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科）

W22-2 膵β細胞からのインスリン分泌における Myocyte-specific enhancer factor 2D の役割

吉田 舞（神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学）

W22-3 加齢黄斑変性症モデルマウスにおける SGLT2 阻害剤の効果

大和真由実（医療法人森和会行橋中央病院）

W22-4 重水素減少水により誘導される糖尿病関連遺伝子の発現変化の網羅的検索

澤田佳一郎（東海大学医学部腎内分泌代謝内科）

ワークショップ 23

11月15日（土）14：10～15：10 第6会場 7階（701）

モデル動物・培養細胞 2

座 長： 中村 昭伸（北海道大学病院糖尿病・内分泌内科）

W23-1 ポリオール経路の動態の可視化を目的としたフルクトース特異的 AGE・グルコースリジンの *in vitro* 評価系の構築

山口 広子（東海大学総合農学研究所）

W23-2 代謝産物センサー CtBP2 の転写因子 BCL3 を介した炎症制御機構の解明

小針 悠斗（筑波大学人間総合科学研究科フロンティア医科学学位プログラム）

W23-3 演題取り下げ

W23-4 腎局所ケトン体代謝の破綻が惹起するエネルギー代謝障害とサルコペニアの関連

堀口 淳矢（滋賀医科大学医学部糖尿病内分泌腎臓内科）

ワークショップ 24

11月15日（土）15：10～16：10 第6会場 7階（701）

網膜症

座 長： 高木 均（川崎・多摩アイクリニック）

W24-1 眼底検査より 2 型糖尿病血管合併症を検出する手法の開発研究—リアルワールドにおける課題

植田佐保子（藤田医科大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科）

W24-2 糖尿病網膜症を契機に診断された 2 型糖尿病 3 例の検討

尾町 健将（昭和医科大学横浜市北部病院）

W24-3 2 型糖尿病に対する多因子介入が網膜症に及ぼす影響：J-DOIT3 試験のサブ解析

笹子 敬洋（東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科）

W24-4 クラスタ分類から見てくる糖尿病網膜症

窪田 哲也（朝日生命成人病研究所）

AP-1 Spatial Transcriptomic Analysis of Adipose Tissue: Methodological Validation and Application

Jisu Jung (Division of Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine, Seoul National University Bundang Hospital, Seongnam, Korea)

AP-2 Modular Co-expression Analysis Uncovers Regulatory Long Non-coding RNAs in Obesity and Type 2 Diabetes

Qingzhi Huang (Department of Internal Medicine, Seoul National University Bundang Hospital, Seoul National University College of Medicine, Seongnam, Republic of Korea)

AP-3 Prolactin Improves Insulin Sensitivity by Expanding Adipose Tissue Reservoir Capacity During and After Lactation

Na Keum Lee (Seoul National University)

AP-4 Single-Cell RNAseq-Based Profiling of Postprandial Intestinal Responses and the Regulatory Impact of Insulin Signaling

Hiroaki Tsuruta (Department of Molecular Diabetic Medicine, Japan Institute for Health Security)

AP-5 Functional Profiling and Cryo-EM Structures Reveal Ligand-Specific Signaling Diversity of GLP-1 Receptor Variants

Fenghui Zhao (Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences)

AP-6 Structural and Functional Insights into HCAR1 as a Versatile Sensor for Lactate and Lipids

Jia Duan (Zhongshan Institute for Drug Discovery, Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences, Zhongshan, China / Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences, Shanghai, China)

AP-7 Glycodeoxycholic Acid Deficiency Accelerated Diabetic Kidney Disease Progression via Gut Microbiota-Dependent Disruption of the FGF19-FGFR1 Axis

Yameng Liu (State Key Laboratory of Drug Research, Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences, Shanghai, PR China)

AP-8 *Smpd3*^{obesity-high} ASC drive obesity inflammation *via* EVs-FN1-CD44 axis

Ying Hong (State Key Laboratory of Drug Research, Shanghai Institute of Materia Medica, Chinese Academy of Sciences, Shanghai, China)

AP-9 Elucidation of the role of Akt in diabetic cardiomyopathy

Kotaro Soeda (Department of Molecular Diabetic Medicine, Diabetes Research Center, National Institute of Global Health and Medicine)

AP-10 miR-494 Deletion Improves Glucose Metabolism via Enhanced Adipose Mitochondrial Oxidation in Mice

Lucia Sugawara (Department of Medicine, Shiga University of Medical Science)

AP-11 Reduced O-GlcNAcylation in Hepatocytes Increases Hepatic Glycogen Accumulation and Triggers Hepatitis and Liver Fibrosis

Shogo Ida (Division of Diabetes, Endocrinology, and Nephrology, Department of Medicine, Shiga University of Medical Science)

AP-12 Sex Differences in the Development of Diet-Induced MASH

Alina Khusnullina (Department of Endocrinology and Metabolism, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences)

共催セミナー

ランチョンセミナー1

11月14日（金）12：00～12：50 第1会場 3階（コスモスⅠ）

座 長： 小川 渉（神戸大学大学院医学研究科 橋渡し科学分野 代謝疾患部門）

LS1 MUSCLE HEALTH に着目した高齢者糖尿病管理

杉本 研（川崎医科大学 総合老年医学）

共 催：住友ファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ部

ランチョンセミナー2

11月14日（金）12：00～12：50 第2会場 3階（コスモスⅡ）

座 長： 原 一雄（自治医科大学附属さいたま医療センター 内分泌代謝科）

LS2 CKM 症候群に立ち向かう

～糖尿病合併心不全・CKD 患者におけるフォシーガ 10mg の意義～

桑原宏一郎（信州大学医学部 循環器内科学）

共 催：小野薬品工業株式会社／アストラゼネカ株式会社

ランチョンセミナー3

11月14日（金）12：00～12：50 第3会場 5階（オリオン）

座 長： 矢部 大介（京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学）

LS3 糖尿病専門医が考える糖尿病合併 CKD の治療～最新のフィネレノンの位置付け～

綿田 裕孝（順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学）

共 催：バイエル薬品株式会社

ランチョンセミナー4

11月14日（金）12：00～12：50 第4会場 6階（601）

座 長： 瓶井 資弘（愛知医科大学 眼科学講座）

LS4 糖尿病診療における眼科内科連携を考える～糖尿病治療薬に関する最新知見を含めて～

横手幸太郎（千葉大学）

共 催：アステラス製薬株式会社／寿製薬株式会社

ランチョンセミナー5

11月14日（金）12：00～12：50 第5会場 6階（606）

座 長： 金藤 秀明（川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学）

LS5 Additional benefits を考慮すべき併存疾患への治療戦略

恒川 新（岐阜大学大学院医学系研究科 内科学講座 糖尿病・内分泌代謝内科学）

共 催：田辺三菱製薬株式会社 開発・メディカル本部 メディカルアフェアーズ部／
日本イーライリリー株式会社 研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部

共催セミナー

ランチョンセミナー6

11月14日（金）12：00～12：50 第6会場 7階（701）

糖尿病診療における Vaccine Preventable Diseases

座 長： 神谷 英紀（愛知医科大学医学部内科学講座（糖尿病内科））

LS6 糖尿病患者の皮膚感染症マネジメントー 帯状疱疹を中心に

渡辺 大輔（愛知医科大学医学部皮膚科学講座）

共 催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー7

11月14日（金）12：00～12：50 第7会場 7階（706）

座 長： 岡田 洋右（産業医科大学病院 臨床研究推進センター）

LS7 CGM を活用した糖尿病治療および合併症の変遷

中神 朋子（東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野）

共 催：アボットジャパン合同会社

ランチョンセミナー8

11月15日（土）12：50～13：40 第1会場 3階（コスモスⅠ）

座 長： 植木浩二郎（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 糖尿病研究センター）

LS8 糖尿病における脂質低下治療の新たな可能性：心血管リスクの包括的管理を踏まえて

横手幸太郎（千葉大学）

共 催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

ランチョンセミナー9

11月15日（土）12：50～13：40 第2会場 3階（コスモスⅡ）

座 長： 綿田 裕孝（順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学）

LS9 糖尿病性神経障害 ～その早期診断と早期治療の重要性～

神谷 英紀（愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科）

共 催：住友ファーマ株式会社

ランチョンセミナー10

11月15日（土）12：50～13：40 第3会場 5階（オリオン）

座 長： 原田 範雄（福井大学学術研究院 医学系部門 内分泌・代謝内科学分野）

LS10 合併症制御を中心に考える糖尿病診療～ GIP/GLP-1 dual agonist の可能性～

金崎 啓造（島根大学医学部内科学講座内科学第一／統合腎疾患制御研究・開発センター）

共 催：田辺三菱製薬株式会社／日本イーライリリー株式会社

ランチョンセミナー11

11月15日（土）12：50～13：40 第4会場 6階（601）

座 長： 稲垣 暢也（公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院）

LS11 心血管イベント抑制に向けた糖尿病治療 ～循環器内科医の視点から～

佐田 政隆（徳島大学大学院 医歯薬学研究部 循環器内科学分野）

共 催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社／MSD 株式会社

ランチョンセミナー12

11月15日（土）12：50～13：40 第5会場 6階（606）

座 長： 川浪 大治（福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科学講座）

LS12-1 T1D 診療の未来へ：ステージ分類から拓く予防・介入の可能性

中條 大輔（国際医療福祉大学医学部 糖尿病・代謝・内分泌内科学／

国際医療福祉大学市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）

LS12-2 「 β 細胞保護」を目指した個別化医療 ～デジタルデバイス活用のおすすめ～

税所 芳史（さいしょ糖尿病クリニック）

共 催：サノフィ株式会社

ランチョンセミナー13

11月15日（土）12：50～13：40 第6会場 7階（701）

座 長： 寺内 康夫（横浜市立大学大学院 医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学）

LS-13 2型糖尿病治療における睡眠時無呼吸症候群ケアの意義 ～糖尿病合併症予防の観点から～

森 保道（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 内分泌代謝科（糖尿病・代謝部門））

共 催：帝人ファーマ株式会社／帝人ヘルスケア株式会社

APDO Luncheon Seminar

Nov 15（Sat）12：50～13：40 Room 7 7F（706）

Chair： Tadahiro Kitamura（Metabolic Signal, Institute for Molecular and Cellular Regulation,
Gunma University, Japan）

ALS-1 Obesity as an Illness: From Social Stigma to Metabolic Signatures and the Promise of Tirzepatide

Takumi Kitamoto（Department of Diabetes, Metabolism and Endocrinology,
Chiba University Hospital, Japan）

Co-sponsored by Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation / Eli Lilly Japan K.K.

イブニングセミナー1

11月14日（金）18：10～19：00 第4会場 6階（601）

座 長： 山内 敏正（東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科）

ES1 糖尿病患者の新型コロナ感染症診療のポイント

山本 和子（琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座（第一内科））

共 催：ファイザー株式会社 メディカルアフェアーズ

イブニングセミナー2

11月14日（金）18：10～19：00 第5会場 6階（606）

座 長： 西村 理明（東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科）

ES2 糖尿病合併症の視点で見直す不眠症

古川 慎哉（愛媛大学 総合健康センター）

共 催：大正製薬株式会社

モーニングセミナー1

11月15日（土）8：00～8：50 第4会場 6階（601）

座 長： 野見山 崇（順天堂大学医学部附属静岡病院 糖尿病・内分泌内科）

MS1 血糖変動が動脈硬化に与える影響とその対策 食事・薬物の観点

三田 智也（順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学）

共 催：小野薬品工業株式会社

モーニングセミナー2

11月15日（土）8：00～8：50 第6会場 7階（701）

座 長： 鈴木 亮（東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科）

MS2 糖尿病治療と心腎予防の最前線 ～長期予後を見据えて～

坂本 昌也（国際医療福祉大学医学部 / 国際医療福祉大学三田病院）

共 催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社